

リスクマネジメントのための失敗学（基礎編）

－未然防止のヒントがここにある！ オンデマンドで失敗学を学びませんか？－

みなさんの組織では、同じ失敗を繰り返していませんか？同じではないが、過去の失敗と似ていると感じたことはありませんか？再発防止だけでなく未然防止ができていますか？「水平展開」「なぜなぜ分析・原因の深掘り」という言葉はよく聞くけれど、実際にはできていないということはありませんか？「人の振り見て我が振り直せ」と簡単に言うけれど、我が振り直すにはちょっとしたコツが必要なのです。そのコツを伝授するのが失敗学です。新しいものを創造するとき、失敗は避けては通れないものであり、そこから学び未然防止につなげなければなりません。ところが、この未然防止には発明や発想と同様の難しさがあります。そのために近年の日本では、防止できたはずの企業不祥事や大事故が相次いでいるのです。失敗とうまく付き合いそこから有益な知識を得る方法、同じ失敗を繰り返さない方法、未然防止の方法、失敗知識の伝達・活用方法についてオンデマンドで学ぶことができます。

対象

- ・製造業・サービス業を問わず、あらゆる分野・業種・階層の方

特徴

- ・出張不要のオンライン形式で学ぶことができます。
- ・都合の良い時に、自分のペースで受講することができます。
- ・失敗学実践編セミナーを受講する前の失敗学の基礎知識習得の場としてご活用ください。

※本講座は「失敗学と創造学セミナー」の1日目の「失敗学」の内容と同じです。

カリキュラム（目安時間：6時間40分）

- ・管理と管理手法
- ・近年の大惨事、大事故、不祥事
- ・起こった後に「想定外でした！」の連発
- ・失敗の必然性：放置されている不完全マニュアル
- ・失敗知識の伝達：情報は横にも上にも伝わらない
- ・失敗学のエッセンス
- ・想定した後の設計論的アプローチ
- ・再発防止と未然防止の例
- ・上位概念へ登る方法 追加
- ・マニュアル頭の人ミスをしやすい
- ・カラクリ図の重要性
- ・下位概念へ降りる練習方法（仮想演習）
- ・管理の落とし穴

参加費

一般：36,300円／会員：36,300円 ※税込み

指導講師

濱口 哲也氏（株濱口企画）

失敗学と創造学セミナー

— 品質問題を解くヒントがここにある！失敗に学び創造性を伸ばす！ —

畑村洋太郎氏（東京大学名誉教授）の提唱された「失敗学」を、創造性を伸ばすための「創造学」とともに、畑村氏と共に研究されてきた濱口哲也氏からご指導いただきます。「失敗のとらえ方と有効活用」「視点・思考の転換による『気づき』と『創造』」「技術・発想のブレークスルー」を学びたい方にお勧めのセミナーです。

対象

対象階層：一般～役員 / 対象部門：全般

特徴

- ・失敗学は、失敗に対し、視点・思考を転換することにより俯瞰的にとらえ、有効活用する方法を学べます。
- ・創造学は、要求のとらえ方と記述方法、解決案を発想する7つの法則などを通し、創造性を高める方法を学べます。
- ・実際に企業人として製品開発に携わった経験も踏まえた知識と実践、対話を重視した体験的な講義により、失敗学と創造学を効果的に習得できます。

カリキュラム

1 日目 (9:20 ~ 18:30)	2 日目 (9:00 ~ 17:00)
失敗学 ・プロローグ ・失敗学のすすめ ・問題提起「今日本で何が起きているか」 ・リスクマネジメントのための失敗学	創造学 ・思考展開図 ・解決案を考える ・要求機能を記述する

日程・受講方法

第1回	2024年 5月28日(火)～29日(水)	ライブ配信
第2回	2024年 7月9日(火)～10日(水)	ライブ配信
第3回	2024年 10月1日(火)～2日(水)	ライブ配信
第4回	2024年 11月11日(月)～12日(火)	ライブ配信
第5回	2025年 2月20日(木)～21日(金)	ライブ配信

参加費

一般：53,900円 / 会員：46,200円 ※税込み ※お得なパッケージ料金もあります！(P.34参照)

指導講師

濱口 哲也 氏 (株)濱口企画 代表取締役

参加者の声

- 多くの失敗データの有効な活用法を見つけられる感じがする。創造学は、開発チームと接する機会の中で、考え方を活かせる。
- ものづくりの開発現場で、開発プロセスにおいて技術者がいかに知恵を出すか、仕組みとしかけがあるように思う。今回の講義により、知恵を出すしかけについてヒントを得られた。
- 失敗のとらえ方、失敗を活用することの重要性、また活用するための手法をわかりやすく解説していただいた。また受講してみたいと思う内容である。
- ロジカルシンキング等よりはるかに現実的かつ実際の、仮に同じテーマでも技術者に受け入れられやすい内容だと思う。
- 特定の部署に限らず、どこの部署でも活用できる内容だと思う。

「失敗学」と「創造学」とは

一目に見えない「思考の谷」を越えること。その先に、創造的発想につながる<新しい領域>があります

■ 失敗学とは

人は失敗に対して、まず「なぜそれが起きたのか」「誰が失敗したのか」という点に着目します。

しかし、単に「なぜ」「誰が」と問うだけでは、どうしても視点や思考が起きた事象から離れることができません。

そのため、失敗の「本質」をきちんと理解し、そのうえで有効な再発防止・未然防止を行うのに必要な発想にたどり着けないケースがよく見られます。

失敗に対して的確な再発防止・未然防止を進めるには、失敗に対する論理的なアプローチを通し、失敗情報を普遍的な知識へ昇華させ、起こりうる失敗の予測へと役立てることが必要です。失敗学は、論理的な思考によって<現在の領域>から離れ、「失敗の上位概念」を得ることで<思考の谷>を越え、そして<新たな領域>=失敗の「真の原因追究」や「有効な未然防止」へとたどり着くための考え方です。本セミナーでは、豊富な事例を交えながら、失敗の理解や分析、本当の未然防止に至るために必要な取り組み方などをご紹介します。

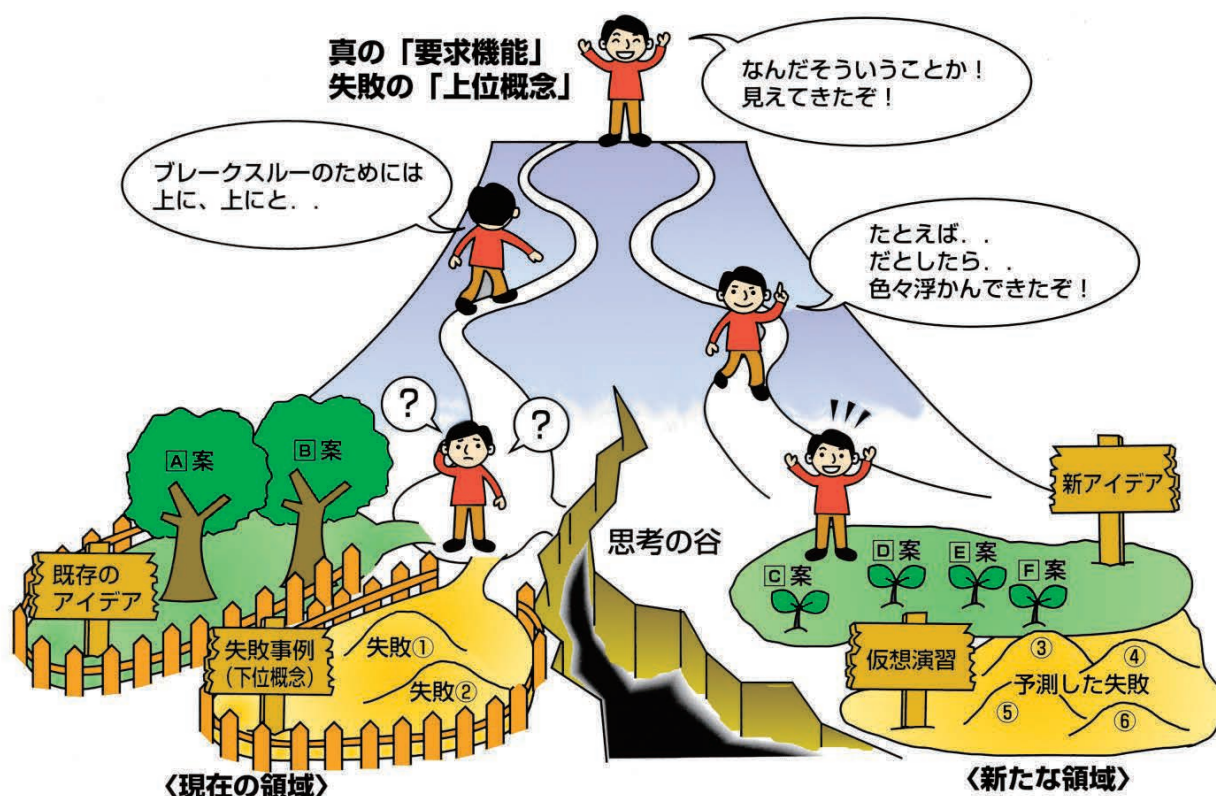
■ 創造学とは

昔から、画期的な発明や製品には、独創性を持った発想がつきものです。

しかし、構造を理解できることと、ゼロからそこまで思いつけることは別のものです。これは、発想できる可能性があっても、実際には既存概念に囚われて<思考の谷>を越えることができず、「新しい発想」「適切な解」へたどり着くことができないためです。

ここでも重要となるのは、いかにして<思考の谷>を越えて<新しい領域>にたどり着くか、です。

創造学は、「真の要求機能」=「要求機能の上位概念」に着目し、<現在の領域>から<思考の谷>を越え、<新しい領域>=「画期的な発想」や「最適な解決法」にたどり着く道筋を示すものです。本セミナーでは、思考展開図や逆演算発想などの具体的な方法論にもとづき、単に発想の数を稼ぐのではない、深く考えられる創造的発想法をご紹介します。



失敗学実践編セミナー

－ 今までの原因分析と対策は間違っていた！ －

様々な失敗や不具合、トラブルに対し、その解決策・未然防止策の一つとして注目されているのが、畑村洋太郎氏（東京大学名誉教授）の提唱された「失敗学」です。日科技連では、2007年に畑村氏とともに研究されてきた濱口哲也氏を講師として「失敗学と創造学セミナー」を開設しました。同コースは、失敗学の思考法が学べる講座として過去累積4,000名を超える参加者を誇る人気コースとなりました。一方、その間に、失敗学の思考法に賛同された企業・組織からの相談を受けて、濱口氏は様々な企業のトラブル事例分析の指導を実践され、指導を行う中で「多くの企業・組織において失敗分析がしっかりできていない」という実態がわかりました。そして、指導企業に対して、どのように指導したら理解してもらえるのか、どのように伝えたらより伝わるのかを常に考え、その結果を濱口氏は「失敗学実践編セミナー」にまとめました。本セミナーは、しっかりとした事例分析と、再発防止のみならず未然防止につながられるようになりたいすべての方にお勧めのセミナーです。

対象

- ・失敗学の思考法を実践したい方、再発防止・未然防止をはかりたい方（業種・職種は不問）。
- ・「失敗学と創造学セミナー」または、「[オンデマンド] リスクマネジメントのための失敗学（基礎編）」を受講し、失敗学の思考法の基礎知識を有している方の参加がより望ましく、教育効果はより期待できます。

特徴

- ・失敗学の思考法を職場で実践するための具体的なアプローチ方法について学ぶことができます。
- ・様々な事例紹介を通じて体験的かつ具体的に学ぶことができます。

カリキュラム

1 日目 (9:20 ~ 18:00)

- ・失敗を分析するうえでの重要な基本的考え
- ・失敗学のエッセンス
- ・失敗の構造と分析方法
- ・再発防止と未然防止のフレームワーク

日程・受講方法

第1回	2024年 6月 25日 (火)	ライブ配信
第2回	2024年 10月 25日 (金)	ライブ配信
第3回	2025年 3月 5日 (水)	ライブ配信

参加費

一般：49,500円 / 会員：41,800円 ※税込み

指導講師

濱口 哲也 氏 (株)濱口企画 代表取締役

お得なパッケージ料金 (税込)

※パッケージ専用のお申込書にてお申込みいただけます。

セミナー名	一 般		会 員	
	正規料金	パッケージ料金	正規料金	パッケージ料金
失敗学と創造学セミナー (p.34)	53,900円	—	46,200円	—
失敗学実践編セミナー	49,500円	—	41,800円	—
パッケージ	103,400円	86,900円	88,000円	70,400円

対策反転型原因分析をやめませんか？

日本中で行われている間違っただ原因分析の最たるものが、結果論ばかり語った「対策反転型原因分析」です。不具合事象が起こると担当者や品証部門の方が、物理現象や事実経緯を明らかにします。そして、それらがわかったらベテランほど「ここにマニュアルを作らなきゃ!」「ここにこんなチェックリストが必要だ!」と対策が先に思い浮かぶものです。その次に、それがなかったのが原因だ!と言うのです。つまり、対策を先に考え、それを反転して原因だということにしているのです。正しい方法や正しいことがわかった後、今回の失敗行動をした1ヵ月前の時点では正しい方法になっていなかった、これが原因であると言い出す始末です。結果論は、リアルタイムで行動している人、これから行動する人にとっては何の役にも立ちません。再発防止、未然防止をしたのであれば、行動している人がその時に気づける言葉でなければ役に立たないのです。

起承転結型原因分析のすすめ!

すべての失敗は想定外だから起こるのです。成功に向かって仕事をしているのに、不具合事象にゴールインしたということは、必ずどこかに「想定外=どんでん返し=起承転結の転」があったのです。つまり、失敗は起承転結型構造を持っているのです。この起承転結型構造をもとに「想定外=どんでん返し=起承転結の転」を明らかにし、想定外を想定内に持ち込み、未然防止を図る分析方法をお勧めします。

そもそも「失敗に学ぶ」を別の言葉で表現すると「人の振り見て我が振り直せ」「過去の振り見て未来の振りを直せ」ということです。

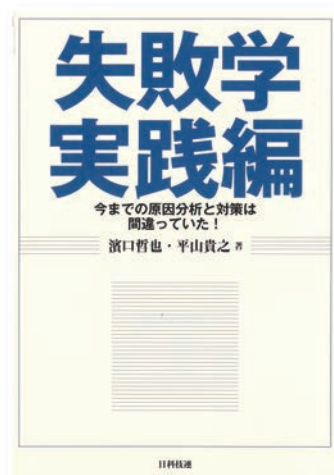
では、なぜ「失敗に学ぶ」必要があるのかといえば、それは「人類は昔から同じ失敗を繰り返してきたから」「人間は同じ過ちを繰り返す動物だから」です。

「過去の失敗と同じか似た形で次の大失敗が起こる」と相場が決まっているのです。だからこそ、失敗を未然に防ぎたいのであれば、過去の失敗から学ぶことが一番賢いのです。ここで、「同じ失敗、同じ過ち」と言うときの「同じ」とは何が「同じ」なのか。それは、「人間の考えやワナ」が同じなのです。事例の数は星の数ほどあっても、人間が陥る誤った考え、その誤った考えと不具合事象の関係(ワナ)はそれほど多くないどころか、不思議なほど共通点が多いのです。だからこそ、そのワナを考えれば想定ができて、未然防止ができるのです。

[書籍のご案内]



失敗学と創造学セミナーテキスト
(日科技連出版社)



失敗学実践編セミナーテキスト
(日科技連出版社)

失敗学トレーニングコース

－ 失敗学の分析方法を習得するためのステップアップコース！ －

2008年より濱口 哲也 氏（株式会社濱口企画 代表取締役／元 東京大学大学院 特任教授）協力のもと、多くの企業で失敗学の考え方に基づいた原因分析と対策を実践されております。その一方で、「会社の取組みとして失敗学の考え方に基づいた原因分析と対策を導入するにはハードルが高く、講演・セミナーの開催・受講に留まっている」「社内の失敗事例やハマったワナだけではなく、他社の失敗事例やハマったワナを知りたい」「他社の失敗事例やハマったワナを知り、そのワナに自社がハマらないように適用していきたい」といった声を多く耳にします。そのような声にお応えするべく、当コースは、失敗学の考え方に基づいた原因分析や対策立案方法を「わかる」レベルから「できる」レベルにステップアップできるコースとして開催いたします。

対象

- ・失敗学実践編を学び、失敗学のエッセンスのフレームワークを書けるようになりたい方

特徴

- ・失敗学の考え方に基づいた原因分析や対策立案方法の習得を目指し、経験豊富な講師陣よりコメント・アドバイスを受けながら実践トレーニングを受けることができます。
 - ・他社の失敗事例・ハマったワナを知ることができるだけに留まらず、自分事としてご自身の頭を使って他社の失敗事例を題材に原因分析と対策を考えていただくことで、実践トレーニングの経験に繋げていただくことができます。
- ※企業の失敗事例を取り扱いますので、受講前に秘密保持誓約書を結んでいただきます。

カリキュラム

1 日目 (9:20 ~ 17:00)

- ・事務連絡／講師紹介
- ・進め方／概要説明
- ・各社のフレームワークの発表・講師コメント・アドバイス
- ・フレームワークのブラッシュアップ
- ・全体討論、総合質疑、まとめ

※参加企業数により時間に変更となる場合がございます。

日程・受講方法

第1回	2024年 5月24日 (金)	東京・ライブ配信
第2回	2024年 8月28日 (水)	東京・ライブ配信
第3回	2024年 11月25日 (月)	東京・ライブ配信
第4回	2024年 2月17日 (月)	東京・ライブ配信

※1社からの参加人数の上限について、集合・ライブ配信でのご参加合わせて50名までです。そのうち、集合でのご参加できる方は3名までです。

参加費

一般：88,000円／会員：88,000円 ※税込み

指導講師

岩松 正治 氏（岩松企画：AGC(株)勤務）・野木 禎生 氏（黒鈴企画：ヤマハ発動機(株)勤務）・藤原 直樹 氏（(株)出雲村田製作所勤務）

業務効率向上のための論理的伝達力マスターセミナー

— 「失敗学」の濱口哲也氏が贈る新機軸セミナー —

仕事の中で「報告書で部下が何を言いたいのかわからなくて困った」「お客様との言葉の解釈の違いが、後でトラブルになった」というような経験はないでしょうか？ 日本語には「あいまいな」表現が多いことに加え、メール等の「顔を合わせないコミュニケーション」が増加した結果、“言いたいことが伝わらない・伝えられない”といったことが増え、それが仕事のトラブルに結びついています。本セミナーは、我々が日常業務で使っている「言葉」に改めて着目し、論理的な思考能力・論理的な伝達力を養成することで、コミュニケーションや業務の効率を向上させることを目的としています。

対象

対象階層：新入社員～役員 / 対象部門：全般

特徴

- ・つい“あたりまえ”ですまされてしまう日本語のしくみ・用法を見直し、実務に必要な要件が確実に伝達できるよう、論理的な言葉の組み立て方・伝達の仕方と、そのために必要な論理的な考え方を習得していただけます。
- ・1日で、必要な内容をコンパクトに学んでいただけます。
- ・指導講師に濱口哲也氏（「失敗学と創造学セミナー」指導講師）を迎え、「論理・理屈だけではなく、多くの場面を想定したケーススタディにより、実際の仕事に役立つ実践的なセミナー」として企画しています。

カリキュラム

1 日目 (9:20 ~ 17:30)

Lesson 0：背景と目的	—社内のすべての文章には論理性が必要である
Lesson 1：単語	—少しの違いが概念まで壊してしまう
Lesson 2：文	—単語と単語の関係を正しく築く
Lesson 3：文章	—文を論理的に接続し、意味を正しく導く
Lesson 4：論旨	—最初から最後まで素直に読めるようにする
Lesson 5：より伝わりやすい文章を書くために	

*各講義にはケーススタディを含みます

* Lesson 4、5は Lesson 0～3をまとめた内容となるため、講義進行の関係で割愛する場合があります。

日程・受講方法

第1回	2024年 6月 7日 (金)	ライブ配信
第2回	2024年 8月 21日 (水)	ライブ配信
第3回	2024年 10月 9日 (水)	ライブ配信
第4回	2025年 3月 11日 (火)	ライブ配信

参加費

一般：38,500円 / 会員：33,000円 ※税込み

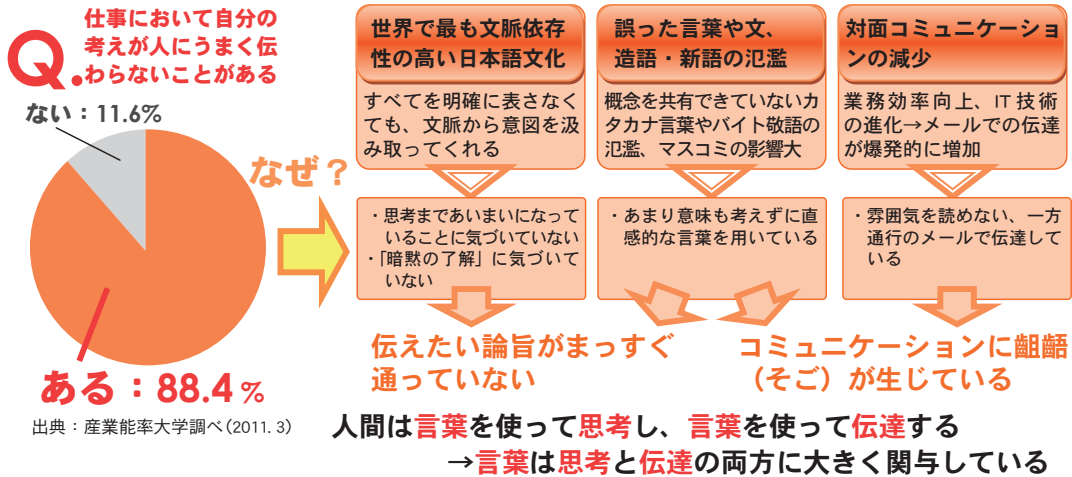
指導講師

濱口 哲也 氏 (株)濱口企画 代表取締役)

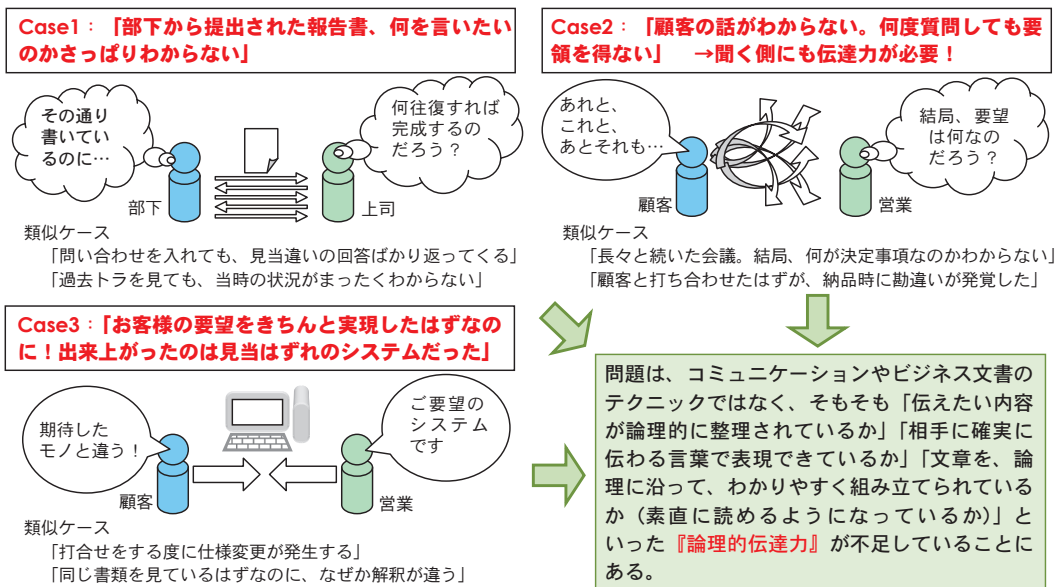
参加者の声

- いかに普段からあいまいなことばを使っていたかに気づかされました。
- 報告書、指示書の「不明点」やメールでの「暗黙の了解」を考え直すきっかけになる。
- すべての部門で役立つと思う。むしろすべての部門に受講してほしい。
- 客先へのプレゼン、上司への報告で、大いに役に立つと思う。
- 若い社員に聞かせたい内容だと思った。
- いわゆる管理者層にこの考え方を（伝える力を身につけて）ほしい。

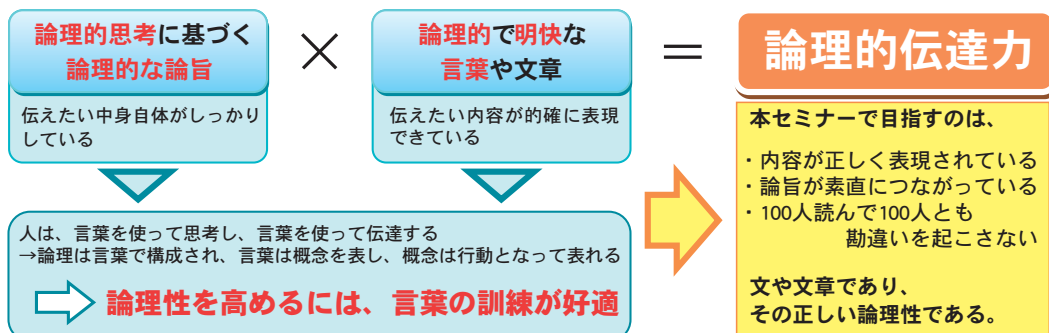
なぜ、いま“伝達力”が必要とされるのか？



たとえば、こんな経験はありませんか？



本セミナーで目指すもの



組織力向上のためのリーダーシップ・マネジメントセミナー

— 「失敗学」の濱口 哲也 氏がリーダーに贈る新たな気づき！ —

近年、リーダーシップやマネジメントが形骸化・マニュアル化し、仕事の設計も想定も創造もできない「定形型人材」が増えていると言われています。しかし、精神論ベースのリーダーシップ研修では、その「悪さ」が見えないため、根本を変えることができません。本セミナーでは、定形型人材が増えた背景と原因を論理的に解き明かし、そこからリーダーに必要なこと（考え方、行動）を3つの視点から導き出します。聞く人が納得することが、明日のリーダーの行動を変える一番の特効薬となります！

対象

対象階層：一般～部課長 / 対象部門：全般

特徴

- ・「リーダーとは斯くあるべし」から入るのではなく、リーダーシップやマネジメントについて論理的に『現状』『悪さ』『対応策』を解説します。
- ・定形型人材から脱し、真のリーダーになるための目の付け所、行動原理を、「主導者」「教育者」「上司」の視点で学んでいただけます。
- ・半日セミナーですので、お気軽にご参加いただけます。

カリキュラム

1 日目 (13:00 ~ 17:00)

- ・いま、日本で何がおきているか（リーダーシップ、マネジメントの問題点）
- ・これからのリーダーシップに求められること（3つの視点から導く行動原理）

日程・受講方法

第1回	2024年 6月19日(水)	ライブ配信
第2回	2024年 10月 8日(火)	ライブ配信

参加費

一般：29,700円 / 会員：24,200円 ※税込み

指導講師

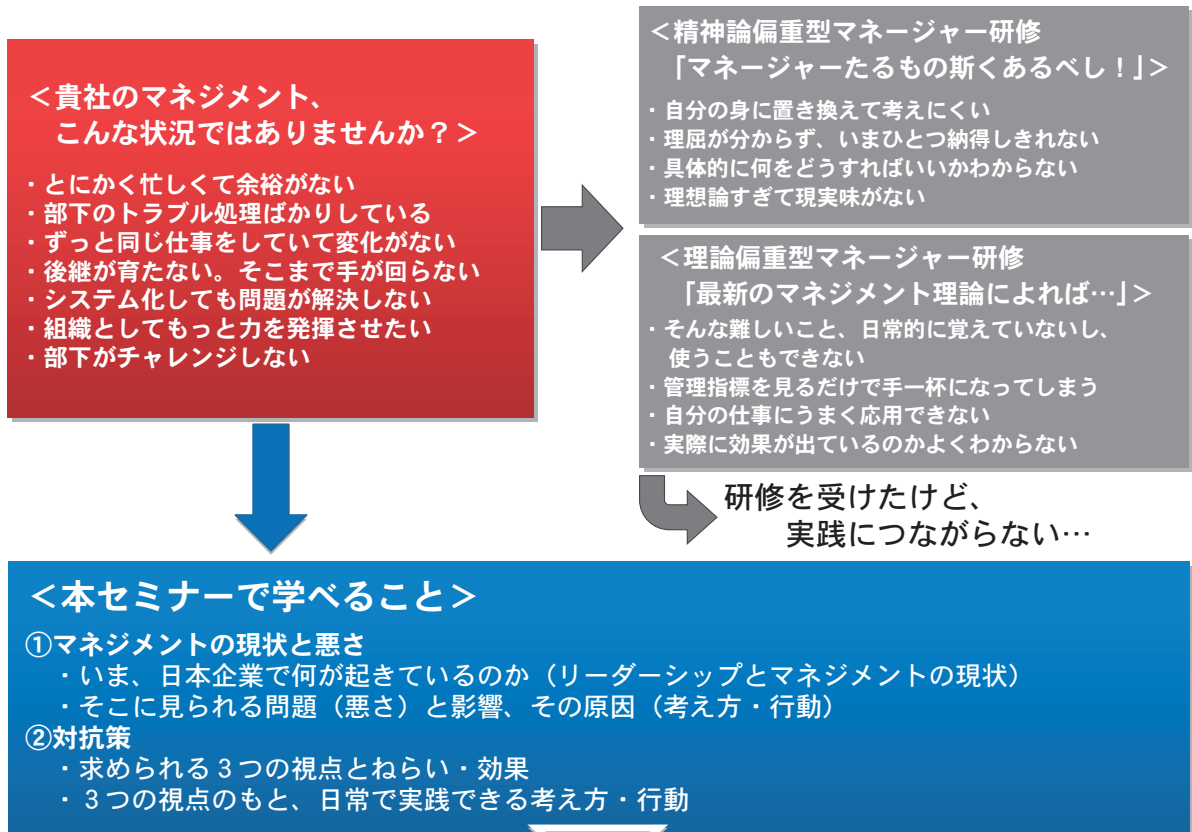
濱口 哲也 氏（㈱濱口企画 代表取締役）

参加者の声

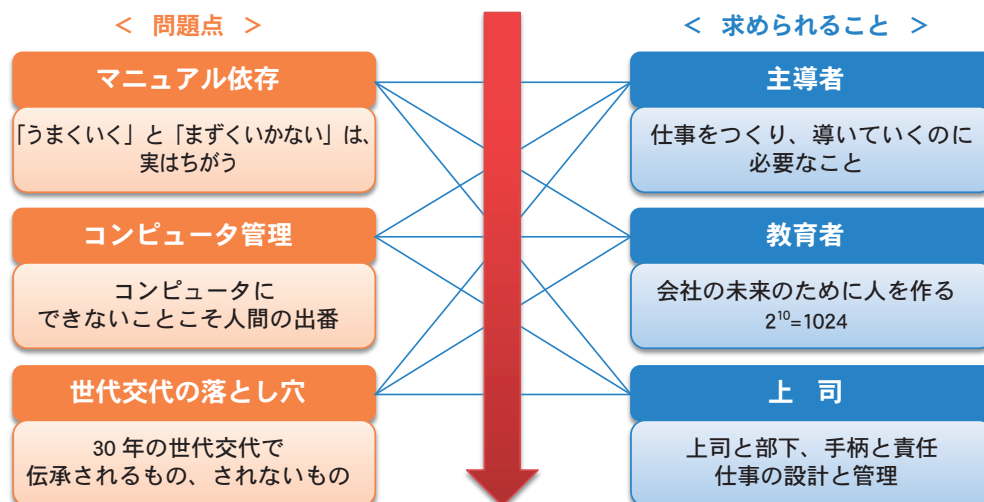
- チームリーダー、PM には積極的に受講させたい。
- 自分の行動がリーダーとして適切かどうか、今後どうしていくべきかをあらためて考える機会になった。
- 事業展開の中で、あらためて業務の在り方を見直すことに活用できそう。
- 次世代に向けた人材育成をするためにどのような教育を組み入れたらいいのか参考になりました。
- 教育システムで「2名に伝承する」というのは衝撃的でしたが、やらなければならないという覚悟ができました。
- リーダーとしてチーム力の向上に悩んでいたため、その考え方を学べた。またモチベーションも上がった。

セミナーのねらい

リーダー・マネージャーが自分たちの現状を踏まえ、問題を認識したうえで、自社に貢献していくために必要な3つの視点（主導者・教育者・上司）から、必要な考え方・行動を実感することができます。



濱口 哲也 氏が、リーダーに起きていること、真に求められることを“論理的”に語ります！



真のリーダーシップは人を育て、組織力を向上させます！